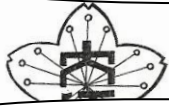


大江に着任して3年。2年以上はコロナ禍の中の教育活動を強いられました。制限のある中、精いっぱい
のことはやってきたつもりです。これまでの保護者の皆様のご理解・ご協力に、大変感謝いたします。こ
れからも大江小の子どもたちを遠くからずっと応援していきたいと思ひます。ありがとうございました



大江の風



最終号
157

今朝何人かの保護者の方に「大江の風で学校の様子がわかりました」と言葉をかけていただきました。
うれしかったです。このような状況になり家庭と学校の距離が遠のかないように、また旬の出来事を
家庭に届けたく書き綴りました。たくさんの方に読んでいただき、本当にありがとうございました。

祝 進級・進学

昨日は卒業式で
した。一人一人に卒業証
書を手渡すことがで
きました。コロナ禍の中
でも、凛とした卒業
生のりりしい姿は、小
学校最後の学習にふ



さわしい、大変すばらしい態度でした。卒業式を無事挙行できたこと、そしてこの立派な姿を、保
護者の皆様に観ていただくことができたことを、大変嬉しく思ひます。卒業生が入学してすぐ熊本
地震がありました。そしてコロナ感染症が拡大して3年目の春に卒業。保護者の皆様も、つらい体
験を乗り越え、立派に成長し巣立っていく姿をご覧になることができ、感激もひとしおだっと思ひ
ます。残念だったのは、この卒業生の姿を、在校生や地域の方々に披露できなかったことです。
体育館が今の3倍くらい大きかったら・・・と思ひます。



それから立派な式になったのも、5年生が前日きれいに掃除し
たり椅子を並べたりと、一生懸命心をこめて準備をしてくれた
おかげです。5年生ありがとう！もう大江小のリーダーとしての
心構えができています。うれしいな～。また、全校児童が一人
一鉢できれいな花を育ててくれたおかげで、花道を飾ることが
できました。みんなにもありがとうを伝えたいです。来年度も
笑顔いっぱい的大江小になること間違いなしですね。

今日の修了式では

昨日卒業生に式辞の中で話した話をしま
した。まず「校長先生を探せ！」私の48年前の黒髪小学校の卒業ア
ルバムの写真を見せました。どよめきが・・・白黒です。昭和なの
だ！（笑）。下段、真ん中に座ってらっしゃる高瀬校長先生からい
ただいた言葉を紹介しました。それは、「山中の賊を破るは易く、
心中の賊を破るは難し」という中国の儒学者、王陽明の言葉です。



「山の中に立てこもっている賊を倒すのはやさしいが、心の中に生ずる邪念に打ち勝つことは難し
い。自分の心を律することは、困難である」というたとえです。目標に向かって努力しようとした
が、なかなか思うように進歩しないとき、人は誰でもくじけそうになるものです。その時に、自分
に負けない強い心と、他人を思いやるやさしい心があれば、必ず道はひらけます。

大江の子どもは、りんご、さやえんどう、いなほ、大江の木、の四つの心が育っています。だから
大丈夫。きっと皆さんは、自分の手で、未来をつかむことができます。今の思い・夢を大事にし
て、力強く歩いていってくれることを願っています。

2年生と5年生の代表の人が、振り返りと来年度の抱負を発表してくれました。5年生は「6年生



では学級会でたくさん意見をだしたりグループで話し合ったり、苦手な発表
ができるように努力し、みんなで意見交換をしあって学校を良くしてい
きたいと思ひます。」2年生は「3年生になったらもっとレベルアップし
て、難しい掛け算も挑戦したいです。」「3年生で外国語もあるので楽し
みです。お友達とたくさん遊んで楽しい3年生にしたいです。」と力強く
抱負を述べてくれました。みんなとっても成長した1年でしたね。今日は
修了証を持って帰っています。どうぞお家でもたくさん褒めてくださいね。